

NPO法人 共に歩む市民の会

会報

2008年8月31日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第23号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

㈹ 045-953-6727

共に歩む市民の会での1年間

佐久間 陽子

*やってみたいこと

私は無給スタッフとして約1年間活動をしました。あえてボランティアという立場で、私はやってみたいことがありました。

会員が多様なカタチで会に関わるように呼びかけ(仕掛け?)をしたかったのです。

私の「関わる」イメージは、必ずしも拠点に出向いてからだと動かすことばかりではありません。「会をおもう」とと言ったら漠然としすぎているでしょうか?…。

まず会費を払うことは「おもしり」がなければできません。それ以外に「会報いつも読んでるよ」とか、「精神障害者の相談先として会を紹介しましたよ」とか。会のことをおもってふと何かをすることも、多様な関わりだとおもつています。

*やってみたいことをやれる場所

実際にやったのは、会員情報確認、パンフレット作成プロジェクトなどです

ご住所や所属の記録が意外になかったり、更新されないままでした。初期は、知り合い同士が多く、「情報管理」など堅苦しすぎたのだとおもいます。でも、設立10年目の去年、これからを考え、会員の皆さんに情報確認をしました。(ご回答いただき本当にありがとうございました)

また、「会員としてなんとかやりたい」という方もいるはずと予想して、パンフレット作成プロジェクトの仲間を募集しました。直接参加できなくても、「イラスト好きな人を知っている」という情報も大歓迎で呼びかけました。嬉しいことに当事者、病院スタッフがプロジェクトに参加してくれました。

それ以外にも退会の方や何か連絡をいたした方に「一言添えてお返事する」ように心がけてみました。

そうはいっても私がやったことはとても限られています。会員が多様に関わるとは奥深いものです。

*私はフーラレてもおかしくなかったの…

ところで、「やりたいことがある」と漠然という私に機会を提供した市民の会は、すごいところだと思っています。

ボランティア受入れは「〇〇をするボランティア」を募集、それに興味のある人が応募して成立するのが一般的です。

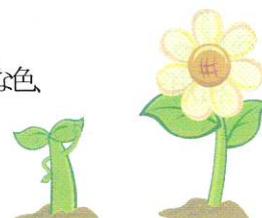
「やりたいことがある」と押しかけた私は「そんな募集してません」とフーラレてもぜんぜんおかしくなったはずです。

*会員って何だろう?

多様なカタチで関わるとは難しいことです。

会員ってなんでしょう?なんで会員になっているのでしょうか?

それぞれのカタチで「会をおもしり」続けることが何よりもかもしれません。会員が放つ多彩な色香り、手触りが素敵な共に歩む市民の会の会員として、こんなことを考えています。



『第4回 共に歩む市民の会 総会』

共に歩む市民の会 第4回総会報告

旭福祉保健センター 森 輝幸

6月28日(土)旭区役所大会議室にて、第4回通常総会が行われました。正会員80名のうち、出席者25名、委任状21名の提出により定数に達し、総会成立となりました。

司会は旭福祉保健センターの保坂さん、議長は同センター村木さんが務め、6議案全て可決されました。

大きな変更点としては、当事者の会費を値下げして会員の定着や入会促進をしていくことが認められたこと、新理事が加わったことがあげられます。他には、今年度からホームページが開設することや、ほっとぽっとにおける宿泊支援の取り組みが評価され予算が付いたことが報告されました。また、退院促進事業では、当事者がキャラバンを組み、いかに地域での生活が魅力的なものか病院を訪問して語りかける活動を続けるとのことでした。

ますます、新機軸を打ち出す市民の会に期待がもてそうです。

総会の感想インタビュー



共に歩む市民の会で、ピアスタッフとして活躍している布留川謙司さんに今年度の総会を振り返ってもらいました。

◎今年はどんな総会でしたか？

綿密な打ち合わせがとれなかつたが、きちんとした報告書があったので、それによって各議案に納得がいった。また、みんな他人のことまで一生懸命なので、自分もはりきってやろうと思うようになった。自分もピアスタッフをやっているので、それについてきちんと予算がついたので良かったと思う。

◎総会から感じた必要なことは？

理解者がもっと広がればよいと思う。自分自身、知り合いにチラシなどを配っている。一般市民の方に興味をもってもらいたい。無視でなく、目を開けてちゃんと目線を合わせてほしい。

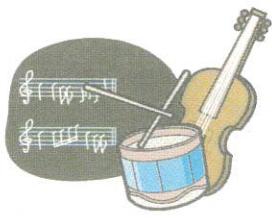
◎今後、自分が取り組んでいきたいこと

ピアクラブでバスハイクをやっているので、今年度もやりたい。予算が足りなくならないかが心配。またイベントだけでなく、自分の将来にとって財産となるような研修をやっていきたい

◎ほっとぽっとへの要望

利用する人が多くなってうれしい悲鳴なのだが、フリースペースが広がればうれしい。休めたり、安心できる空間であってほしい。

インタビュアー 森 輝幸

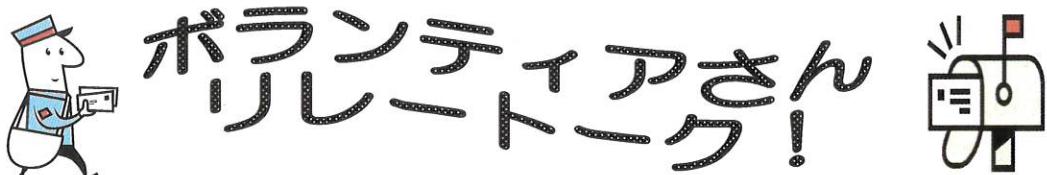


バンド「いつも始まつたばかり」をきいて

松元 紀子（共に歩む市民の会）

2008年度総会終了後、第二部は期待のコンサートです。障害を持つ方たち中心の「いつも始まつたばかり」のバンドマスターは市民の会監事の瀬崎忠雄さん。バンドメンバーを楽しく紹介くださる。「風に向かって歩きたい」(ジェイウォーク作曲)「涙そうそう」の演奏後は、当事者メンバーがキーボードで「フレンズ」を弾く。心の障害や目の障害や身体の障害をかかえている人達が互いに手をつなぎ、支えあっていきたいとの想いで作曲されたとの事。自分の持っている力を活かし楽しく生きれば、人は幸せになれるという「ハッピー」の曲にも感動しました。

ラストは当事者メンバーによるギター弾き語り。6～7年前心の病で何もやる気も出ず、ただ恨むのみでやけっぱちに陥っていた。だが、あなたの愛が僕を救ってくれた。という本人作詞作曲の「THANKS」は圧巻でした。体験から生み出された歌に思わず涙がこぼれました。バンドの皆様どうもありがとうございました！　以上



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。前回の話題に重複するところはございませんので、お読みください。

前回の語らい電話のSさんからバトンを手渡されたのは・・・
第二次は語らい電話のMさんに手渡

第7回は語らい電話のMさんです。

自分がそうであるように、人はどんな人でも一人で生きられない多くの誰かといろんな形で接し、生きがいを見い出しながら懸命に生きている。悲しい事、楽しい事、気になっている事、誰かに話したい、伝えたい、そして共感して欲しいと。こんな想いを抱きながら電話の前に座っています。「語らい」電話は顔は見えないけど、それ以上の感触が伝わってくるものがあり、私はあまり深く考えたりしない性分ですがボランティアの傾聴というよりも、自分の未熟なところを発見させてくれる、とても素晴らしい空間を提供して頂いていると感じています。

そしてこの「語らい」電話が必要とされる嬉しさを深く感じながらこれからも一緒に「語らい」少しでもポジティブに楽しい事等を話題の中に織り込みながら、お互いの貴重な時間を共有して行きたい。

語らい電話 Mさんより

“共に歩む市民の会” パンフレットがついに出来ました！

昨年12月に『共に歩む市民の会』のプロジェクトを立ち上げ、約10名のプロジェクトメンバーのもと、約8ヶ月の年月を経てついに出来ました！

そのプロジェクト立ち上げから携っていただいた佐久間 陽子さん（巻頭言にも登場）に、その作成秘話についてもご本人に伺ってみました。

佐久間さんは昨年5月から1年余にわたって週1日、ボランティアの事務局スタッフを務めてくださいました。緻密に、時に大胆に、会員さんと会の橋渡し役となり、たくさんの刺激とアイデアを残してくれた「はたらき」に心より感謝！ そういうえば、利用者の皆さんも週に一度、多彩なファッションで登場する彼女との会話を楽しんでいましたっけ。（事務局・川田）

パンフレット 秘話



*知られていない真実

不都合ではないですが、知られていないのは

「特定非営利活動法人 共に歩む市民の会」のパンフレットがない真実。

*じゃあ作ろうよ

法人本体のパンフレットがないのは、大黒柱なしで家が建っているようで問題だ。

じゃあ、作ろうよ。

と、真剣だか単純だか分からぬまま勢いよくプロジェクトを立ち上げ、約10人の会員がメンバーとなったのです。

*素人集団 センス？？？(>< ;)

世の中のパンフレットを見たら、美的センスの求められる作業だということが分かってきました。うーん。精神障害についてのセンスは抜群ですが…。

ということで、つてを頼ってプロのデザイナーに「パンフレットのツボ」を教えてもらい、デザインも頼むことにしました。

*ところで、市民の会って何でしょう？

パンフレットは中身が命です。改めて共に歩む市民の会についてみんなの考えを出しあいました。共通しているところもあれば、食い違うところもあり…。

ここから、魔法の指輪を握って会の本質を問いかける長く苦しい旅が始まったのです。

*迷いを盛り込むパンフレット

苦しいことには長く耐えられません。「会って何？」「これからどうしていきたい？」という話をするうちにメンバーに大きな光が指しました。

「今、会は迷いの中にある。その迷いをパンフレットに載せてみよう」

「迷っている私たちに共感してくれる人が現れるかもしれないじゃん。」

*パンフレットの誕生

プロジェクトメンバーは、約8ヶ月かけて色々なことを話し合いました。

そこから、改めて会の良さを知り、会の現状を理解しました。

パンフレットが紙に印刷されただけではなく、メンバーの中に共に歩む市民の会への熱い思いが誕生したのです。それは、まるで美しいヴィーナスが誕生した瞬間のようです。

この思いを、プロジェクトメンバーだけにとどめず、全会員にお届け致します。



- | パンフレット解説
- | コンセプト あなたのアイデア聞かせてください
会は今少し迷いの中です。あなたのアイデアを聞かせてください。
- | ターゲット 10代後半から20代の学生むけ。女性むけ。精神障害の専門ではない人むけ。
- | (会員の皆さんの中で、ターゲットにあった配布先をご存知の方はご連絡下さい)

**当事者や会関係者の熱いおもいが詰まったパンフです。ぜひご活用をお願いします！
必要な方は事務局までご連絡ください。**

～事務局ニュース～

理事会報告

(第18回) 5月14日(水) 19:00~

〈出席理事〉7名 (欠席3)

〈審議事項〉・総会議案の検討

- ・総会開催について (Ⅱ部の内容／役割分担)
- ・宿泊支援事業に伴う規定について その他

(第19回) 7月22日(火) 19:00~

〈出席理事〉9名 長谷川理事が初参加 (欠席2)

〈審議事項〉・今年度の事業計画について

基本方針の具体化、幹事会や広報のあり方等について話し合い、役割分担を確認した。

- ・就業規則の改定について…紺野、高橋、川田各理事と堀口職員が改定案作りを担当する。
- ・パンフの作成配布について その他

次回理事会は11月13日(木)夜に開催予定

◇◆◇◆◇◆【新規入会 ありがとうございます！】◆◆◇◆◇◆

*正会員 八谷俊彦 *賛助会員 田中瑛子 敬称略 (3/20~8/20)

◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

20年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださるようお願い致します。

郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会

市民の会・ほっとぽっと スケジュール8~11月

関心のあるイベントがあれば、お気軽にご参加ください。

『市民の会幹事会』 “この人を知るシリーズ” 第2弾続行中

◇9月24日(水) 18時半～ ほっとぽっと2階

話題提供＝内田由里子さん(むくどりの家)

『自立支援法勉強会』 “区役所の相談窓口について”

◇9月19日(金) 14時～16時 別館

話題提供＝保坂さん(旭福祉保健センターMSW)

『ほっとたつはな亭コンサート』 申込み必要！

◇9月23日(火・祝) 神奈川フィルメンバーによるバイオリンとピアノのデュオ

13:45(開場) 14:00(開演) 定員25名 ほっとぽっと別館

『旭ふれあい区民まつり』 今年も「自治会町内会&ほっとぽっとコーナー」をよろしく！

◇10月26日(日) 10時～15時 公園十ほっとぽっと本館・別館

実行委員会・・・9月11日(木)18時～ 本館2階

楽しい企画と一緒に考えよう！飛び入り大歓迎

【10/25(土)は祭り準備のため、ほっとぽっと休館です】

『親子で楽しく整体講座＆紙芝居』 ~自主企画Part2~

◇11月開催(日時未定・・・お問い合わせください) ほっとぽっと別館にて

お子さん(小学校入学前)とお母さん(お父さん)の親子連れ10組 1組500円

出演者：山上亮さん(整体)・としょくん(紙芝居)＊整体は家庭でできる応急手当がテーマ



編集後記



✿先日、離れて暮らしている息子を二人で訪ねた折、彼は冷やし中華を作ってくれました。きゅうりは5ミリの厚さ。トマトは四分の一割のトッピングでびっくりしたけれど、とてもおいしかった！ヘルパーさんとの日頃の調理活動のおかげかな、とも感じています。暑さに負けぬよう、皆さんしっかり食べましょう。・・・松元

*仕事上、引きこもっていた方が、徐々に巣立っていく姿に立ち会うことがあります。きっかけは様々ですが、そんな時うれしい気持ちになります。・・・森

✿「緑のカーテン」になるはずだったヘチマが今頃になってズンズン伸びて茂っている。うーん、もう一度、夏よ来い！ そりゃないか。急にセミが静かになって一寸寂しいこの頃です。川田

✿念願のパンフレットが出来上がりしました。試行錯誤のその過程で改めて自分と市民の会について考える機会を与えてもらいました。ありがとうございました。・・・松迫

✿(ひとの家の)家庭菜園で、新鮮な野菜をたくさん採りました。自分で大事に育てて、必要な分を新鮮なうちに食べる。なんだかとっても感激！来年はベランダ菜園くらい作りたいなあ。・・高木